

兵庫県下の経済動向

平成26年10月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられたが、基調的には回復しつつある。個人消費は基調として緩やかに持ち直している。この間、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動は徐々に減衰しているが、足もとでは天候不順の影響もあって、そのペースは幾分鈍化している。また、設備投資は拡大している。住宅投資は基調として堅調に推移しているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が6か月連続で前年実績を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車、および小型乗用車が減少し、6か月連続で前年を下回った。

家電販売は、弱めの動きがみられているが、基調として持ち直しつつある。

設備投資は、製造業、非製造業ともに増加しており、26年度は増加となる見込み。

住宅投資は、貸家、給与住宅、分譲住宅が増加したが、持家が減少し、全体では3か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額は兵庫県で著増、国で2桁増となるも、その他の団体、独立行政法人等で大幅減、神戸市、神戸市を除く市町で2桁減となったことから、2か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出はEU向けが減少したが、中国を含むアジア、中国、米国向けが増加し、6か月連続で前年を上回った。また、輸入については2か月ぶりに前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月ぶりに前年を下回った。

雇用関係では、有効求人倍率は、新規求人数ともに前年を上回った。

また、一人当り名目賃金は前年と同水準だったが、所定外労働時間、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

7月の兵庫DIは、先行指数28.6%、一致指数33.3%、遅行指数14.3%となった。

7月の兵庫CIは、先行指数93.1、一致指数115.4、遅行指数111.1となった。

兵庫DIは、先行指数が5か月連続で50%を下回り、一致指数が5か月連続で50%を下回り、遅行指数が4か月ぶりに50%を下回る。

一方、兵庫CIは、先行指数が7か月ぶりに前月差増、一致指数は3か月連続で前月差減、遅行指数は2か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「兵庫CI一致指数は、足踏みを示している。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

8月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は96.8、前月比3.7%減少。出荷指数は96.6、同3.2%減少。在庫指数は115.9、同0.6%減少。在庫率は110.2、同6.8%減少。生産指数、出荷指数、在庫指数ともに2か月ぶりに低下した。

前年同月比(原指数)では、生産は0.0%、出荷は0.7%増で11か月連続で上昇、在庫は3.5%減で8か月連続で低下した。

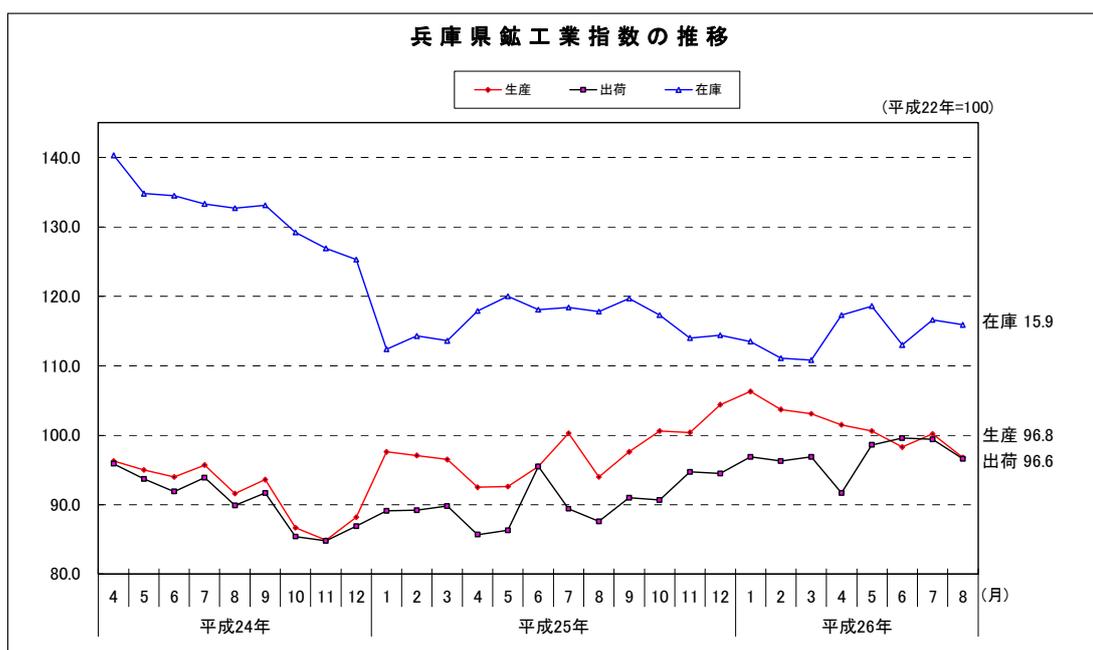
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、固定通信装置等の「情報通信機械工業」が26.0%、旅客車等の「輸送機械工業」が13.9%、リチウムイオン蓄電池等の「電気機械工業」が6.8%、清酒等の「食料品工業」が4.8%、ガラス製容器類等の「窯業・土石製品工業」が2.1%、普通鋼鋼板等の「鉄鋼業」が2.1%各々上昇し、ガス風呂がま等の「金属製品工業」が11.0%、医薬品等の「化学工業」が11.6%、一般用蒸気タービン等の「はん用・生産用・業務用機械工業」が19.0%、各々下落した。

県統計課は、基調判断を「一部に弱い動きがみられる。」とした。

8月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)		原 指 数	
		増	減	対前年同月 比増減 (%)	
生 産	96.8	▲	3.7	88.7	0.0
出 荷	96.6	▲	3.2	89.8	0.7
在 庫	115.9	▲	0.6	116.9	▲ 3.5
在 庫 率	110.2	▲	6.8	122.6	▲ 2.1

資料：兵庫県企画県民部統計課



8月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	100.5	1.5	上昇	普通鋼鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材、鍛鋼品、亜鉛めっき鋼板
			低下	H形鋼、鉄系鍛工品、普通鋼線材、普通鋼鋼帯
金属製品	90.2	▲11.0	上昇	超硬チップ、PC鋼より線、鋼索、ねじり棒ばね
			低下	ガス風呂がま、ガス温水給湯暖房機、石油温水給湯暖房機、ガス湯沸器
はん用・ 生産用・ 業務用 機械	85.0	▲19.0	上昇	ボイラ部品、建設用クレーン、反作用機器、C(W)BN工具
			低下	一般用蒸気タービン、混合機・かくはん機・粉砕機、ショベル系掘削機械、コンベヤ
電気機械	103.6	6.8	上昇	リチウムイオン蓄電池、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、一般用タービン発電機、高圧遮断器
			低下	開閉制御装置、電気がま、クッキングヒーター、アーク溶接機
情報通信 機械	130.2	26.0	上昇	固定通信装置、レーダ装置、搬送装置、無線位置測定装置
			低下	ノート型パソコン、テレメータ・テレコントロール、カーオーディオ、ガス警報器
輸送機械	108.5	13.9	上昇	旅客車、特殊自動車発動機部品、発動機部品、二輪自動車(125ml超)
			低下	駆動伝導・操縦装置部品、内燃機関電装品、船用ディーゼル機関、特装ボデー
窯業・ 土石製品	109.5	2.1	上昇	ガラス製容器類、セメント、タイル、空洞コンクリートブロック
			低下	ほうろろ鉄器製品、ファインセラミックス(構造材)、複層ガラス、せっこうボード
化 学	92.7	▲11.6	上昇	無水酢酸、水系合成樹脂塗料、ポリスチレン、自動車排気ガス浄化用触媒
			低下	医薬品、塩化ビニル(モノマー)、塩化ビニル樹脂、二塩化エチレン
食 料 品	110.9	4.8	上昇	清酒、めん類、ビール類、砂糖
			低下	配合飼料、しょうゆ、肉製品、即席めん

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた9月の県内百貨店売上高は、前年同月比1.6%減の142億54百万円と6か月連続で前年実績を下回った。

神戸地区は前年同月比1.3%減。そごう神戸店は「高級婦人服が苦戦した」としており、また大丸須磨店や芦屋店は前年割れだったが、神戸店は前年実績を上回った。

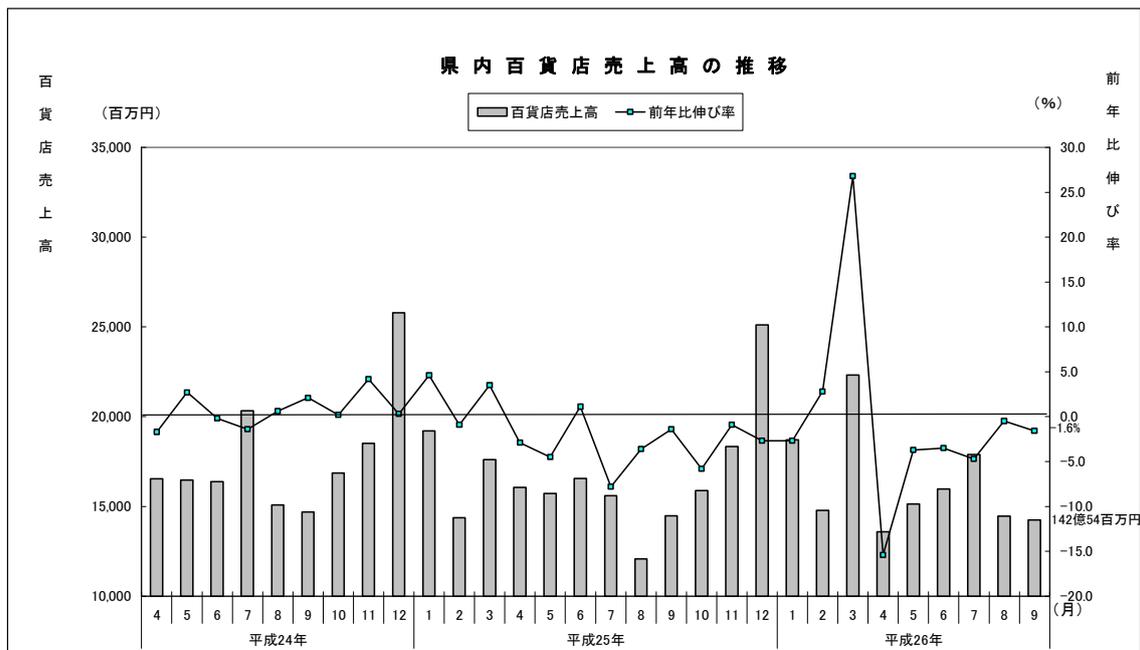
一方、姫路地区は前年同月比2.7%減だったが、山陽百貨店は秋物の婦人服が好調のため消費税増税後初めてプラスに転じた。

9月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	518(3.6)	131(▲14.8)	649(▲ 0.7)
婦人服・洋品	3,871(▲ 0.9)	604(▲ 0.2)	4,475(▲ 0.8)
子供服・洋品	259(▲ 8.7)	81(0.3)	340(▲ 6.7)
身の回り品	1,056(▲ 7.9)	218(▲ 4.1)	1,275(▲ 7.3)
家庭用品	488(▲ 9.6)	150(▲ 8.8)	639(▲ 9.4)
食料品	3,294(0.4)	635(▲ 1.7)	3,930(0.0)
雑貨	1,743(3.9)	342(▲ 2.2)	2,085(2.9)
その他	568(▲ 8.6)	288(▲ 0.4)	857(▲ 6.0)
計	11,801(▲ 1.3)	2,453(▲ 3.2)	14,254(▲ 1.6)

※ 単位百万円、百万円未満切捨て。()内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内9月の乗用車新車登録台数は17,618台、前年同月比1.5%増と5か月ぶりに前年同月の実績を上回った。

9月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は6,413台(前年同月比6.1%増)、小型乗用車は4,644台(同14.2%減)、軽乗用車は6,561台(同11.0%増)、乗用車合計で17,618台(同1.5%増)となった。

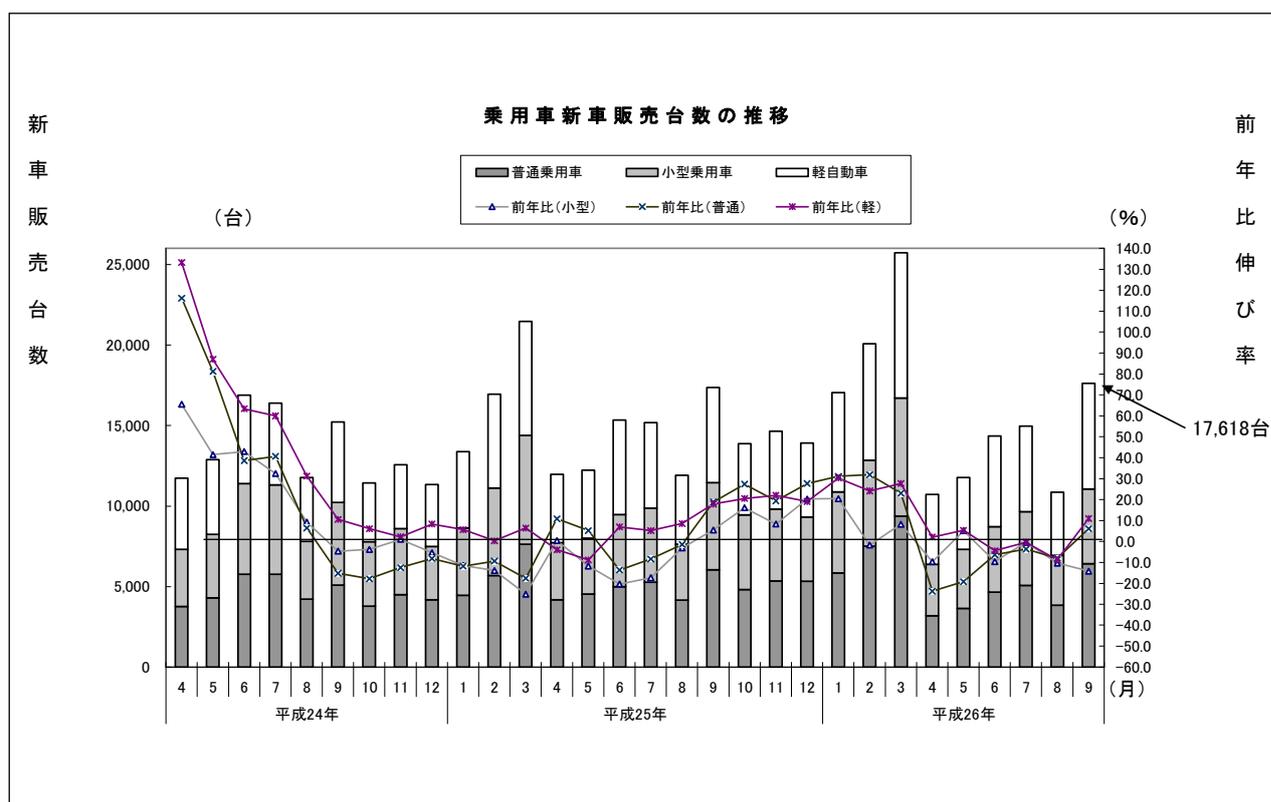
また貨物車等では、普通貨物車は571台(同16.5%増)、小型貨物車805台(同5.6%増)、軽貨物車は1,508台(同16.2%増)、バスは40台(同31.0%減)となった。

9月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	6,413	6.1	143,982	4.3
小型乗用車	4,644	▲ 14.2	124,453	▲ 14.8
軽乗用車	6,561	11.0	163,377	0.9
乗用車合計	17,618	1.5	431,812	▲ 3.2
普通貨物車	571	16.5	20,021	23.8
小型貨物車	805	5.6	25,530	11.4
軽貨物車	1,508	16.2	40,058	9.6
貨物車合計	2,884	13.1	85,609	13.2
バス	40	▲ 31.0	1,340	19.7
登録車総計	20,542	2.8	518,761	▲ 0.8

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が10月9日に発表した機械受注統計によると、平成26年8月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、26年7月前月比13.5%減の後、26年8月は同2.2%減の2兆1,527億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、7月前月比3.5%増の後、9月は同4.7%増の8,078億円となった。

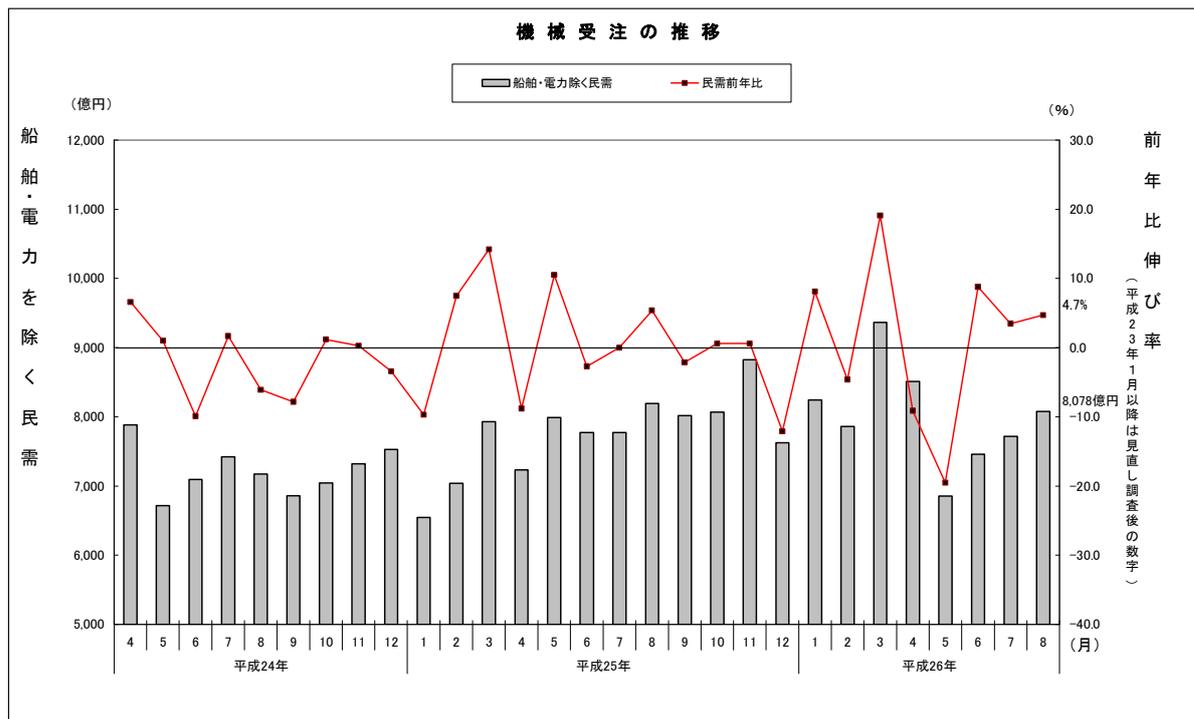
内訳をみると、製造業が同10.8%減の3,246億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同10.7%増の4,704億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、パルプ・紙・紙加工品(145.6%増)、非鉄金属(48.4%増)、その他輸送用機械(43.2%増)、造船業(34.8%増)等の4業種で、石油製品・石炭製品(82.2%減)、化学工業(50.1%減)、精密機械(16.2%減)、金属製品(14.1%減)、一般機械(7.6%減)、食品製造業(6.4%減)、情報通信機械(6.0%減)、「その他製造業」(5.7%減)、電気機械(3.9%減)、鉄鋼業(1.3%減)、自動車・同付属品(1.3%減)等の11業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、リース業(219.9%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(195.6%増)、建設業(12.1%増)等の3業種で、電力業(49.9%減)、金融業・保険業(19.4%減)、農林漁業(9.0%減)、不動産業(5.5%減)、通信業(4.7%減)、運輸業・郵便業(3.6%減)、卸売業・小売業(2.2%減)、「その他非製造業」(2.2%減)、情報サービス業(1.3%減)等の9業種は減少となった。

兵庫県下においては、2014年度設備投資額は、製造業、非製造業ともに増加を見込んでおり、全産業でも増加計画。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2014年9月 ——兵庫県——
設備投資計画：全産業前年度比+14.3% (製造業+15.4%、非製造業+10.4%)



機械受注統計 (平成26年8月分)

	25年 7~9月 実績	10~12月 実績	26年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 見通し	26年 5月 実績	6月 実績	7月 実績	8月 実績
受注総額	65,886 (5.9) [21.4]	65,764 (-0.2) [15.9]	68,594 (4.3) [10.8]	78,446 (14.4) [26.9]	66,416 (-15.3) [-2.0]	21,735 (-30.5) [-2.6]	25,451 (17.1) [30.3]	22,013 (-13.5) [6.1]	21,527 (-2.2) [0.4]
民 需	28,259 (5.1) [9.9]	28,822 (2.0) [14.0]	30,577 (6.1) [18.5]	27,527 (-10.0) [2.1]	27,078 (-1.6) [-4.6]	8,472 (-19.6) [-9.0]	8,513 (0.5) [-4.9]	9,906 (16.4) [7.0]	8,678 (-12.4) [-8.2]
〃 (Ex 船・電)	23,997 (4.8) [9.6]	24,442 (1.9) [13.3]	25,474 (4.2) [16.4]	22,824 (-10.4) [-0.4]	23,484 (2.9) [-2.3]	6,853 (-19.5) [-14.3]	7,458 (8.8) [-3.0]	7,717 (3.5) [1.1]	8,078 (4.7) [-3.3]
製造業	9,633 (8.1) [8.2]	9,829 (2.0) [14.8]	10,213 (3.9) [22.1]	9,343 (-8.5) [4.1]	9,296 (-0.5) [-3.5]	2,835 (-18.6) [-3.8]	3,024 (6.7) [-1.3]	3,639 (20.3) [13.4]	3,246 (-10.8) [2.5]
非製造業 (Ex 船・電)	14,344 (-0.2) [10.4]	15,052 (4.9) [12.4]	14,898 (-1.0) [11.8]	13,905 (-6.7) [-3.1]	14,218 (2.2) [-0.7]	4,270 (-17.8) [-19.9]	4,441 (4.0) [-4.1]	4,250 (-4.3) [-7.4]	4,704 (10.7) [-7.0]
官 公 需	9,197 (8.8) [34.0]	9,197 (8.8) [34.0]	7,196 (-11.5) [-9.1]	9,374 (30.3) [11.8]	8,039 (-14.2) [-18.3]	3,637 (22.4) [9.5]	4,441 (4.0) [-4.1]	3,024 (9.3) [6.1]	2,119 (-29.9) [-22.8]
外 需	27,009 (10.7) [34.7]	25,814 (-4.4) [18.4]	27,499 (6.5) [12.8]	39,111 (42.2) [61.0]	28,058 (-28.3) [4.9]	8,737 (-45.9) [-0.2]	14,226 (62.8) [87.5]	8,169 (-42.6) [4.4]	10,547 (29.1) [14.9]
代 理 店	2,884 (7.7) [4.6]	3,076 (6.7) [16.2]	2,833 (-7.9) [-6.3]	3,037 (7.2) [13.0]	3,003 (-1.1) [4.5]	1,009 (2.2) [9.0]	1,041 (3.1) [7.9]	1,065 (2.3) [11.3]	1,027 (-3.6) [5.3]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内8月の新設住宅着工戸数は、総数で4,167戸(前年同月比52.4%増)となり、貸家、給与住宅、分譲住宅が増加したが、持家が減少し、全体では前年を上回った。また、前月比では2,100戸の減少となった。

8月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	925	▲ 11.5	24,250	▲ 22.7
・分譲住宅	1,424	44.9	20,669	▲ 10.3
貸家系・貸家	1,770	166.6	28,435	▲ 3.8
・給与住宅	48	11.6	417	11.5
総数	4,167	52.4	73,771	▲ 12.5

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

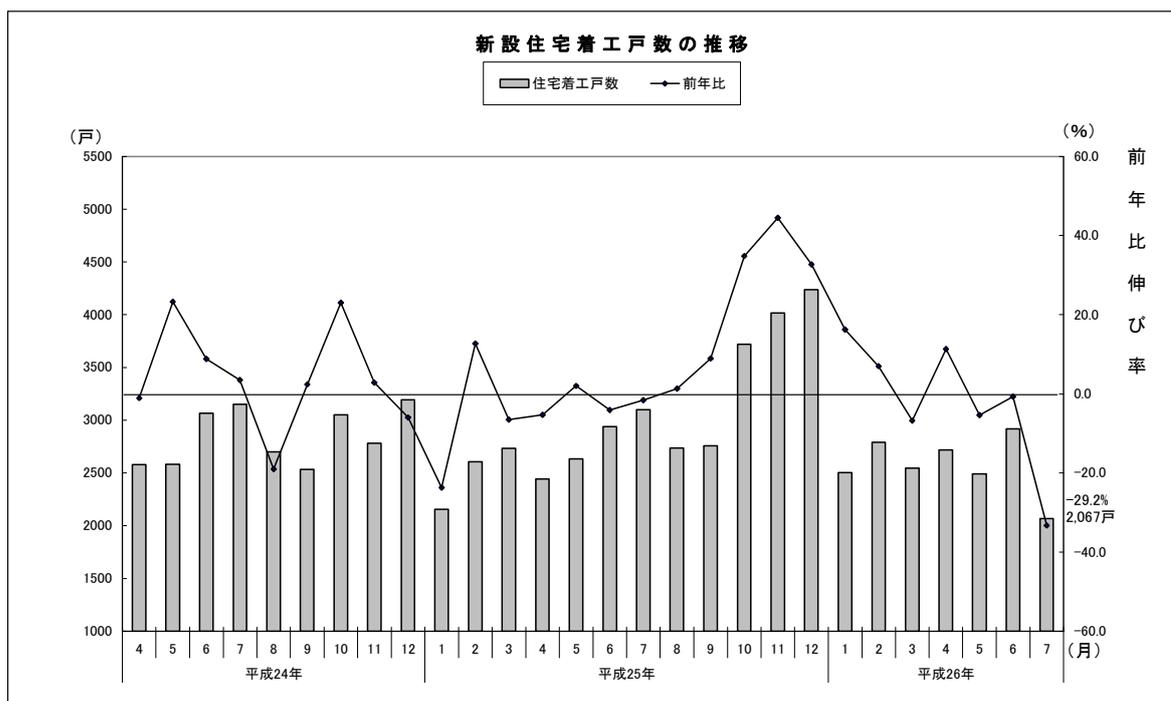
8月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	1,919	749	306	512	75	431	58	61	34	22	4,167
前月比	260.0	71.4	9.3	71.8	-8.5	83.4	-53.6	190.5	13.3	-15.4	101.6

資料：兵庫県住宅政策課

平成26年7月の新設住宅着工累計は、総数で4,167戸、前年同期比1,432戸の増加となった。利用関係別では「持家」が925戸(前年同期比11.5%減)、「貸家」が1,770戸(同166.6%増)、「分譲住宅」が1,424戸(同44.9%増)、「給与住宅」が48戸(同11.6%増)となった。



【公共工事】

9月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は603件で前年同月比1.1%の減少、請負金額は362億円で同27.8%の減少となり、金額ベースでは2か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「兵庫県」前年同月比65.3%、「国」同11.4%の増加となったが、「その他の団体」同▲84.4%、「独立行政法人等」同▲66.7%、「神戸市」同▲18.4%、「神戸市を除く市町」同▲13.8%減少となり、前年同月を下回った。

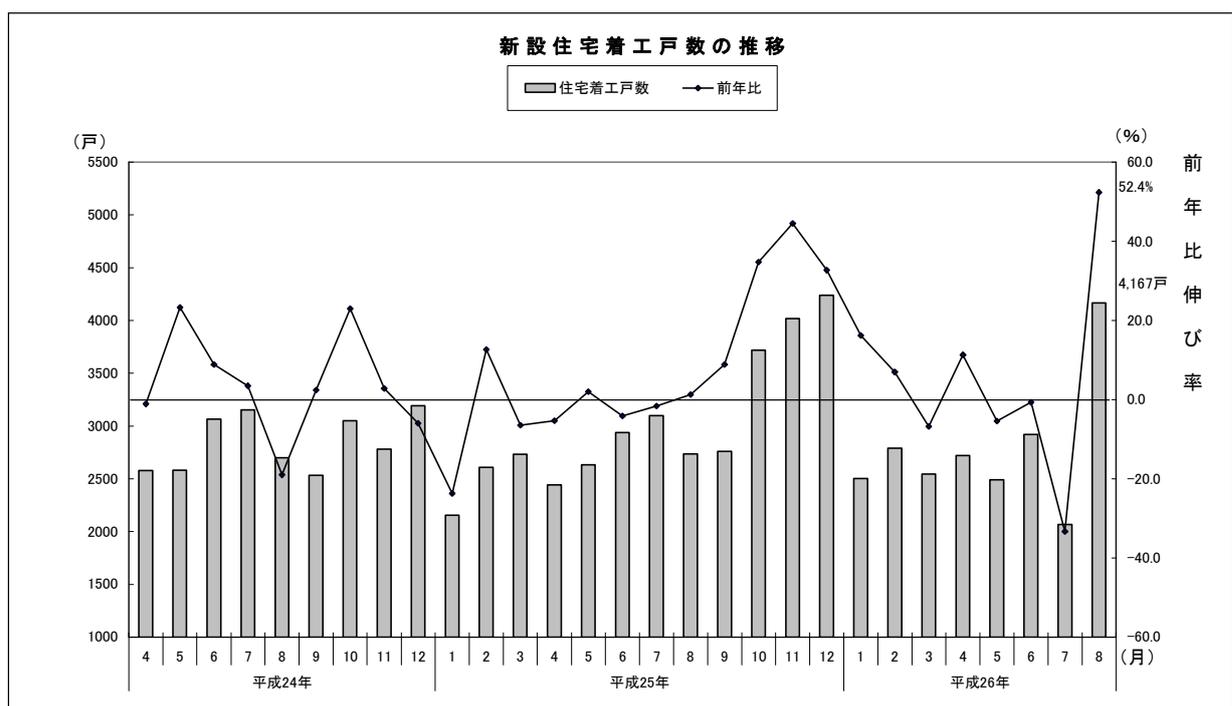
地域別(金額ベース)では、神戸市(前年同月比64.0%)、中播磨(同18.0%)、但馬(同12.4%)、西播磨(同7.5%)、阪神南(同0.5%)が増加となり、東播磨(同▲90.8%)、北播磨(同▲45.0%)、阪神北(同▲12.6%)、丹波(同▲9.0%)、淡路(同▲3.1%)、が減少となった。

9月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	35(▲14.6)	3,783(11.4)	
独立行政法人等	5(▲75.0)	800(▲66.7)	新名神高速道路道場生野工事
兵庫県	239(3.0)	16,394(65.3)	河高潮播磨第5556-2-002号(二)八家川水系八家川八家川排水機場土木工事 病企第1号県立こども病院建設工事
神戸市	45(▲8.2)	2,460(▲18.4)	
神戸市を除く市町	240(8.6)	9,681(▲13.8)	明石市立錦城中学校北校舎改築ほか(建築)工事 明石市立人丸小学校東・南校舎改築ほか(建築)工事 第46小学校新築工事 朝来市立和田山中学校校舎改築工事
その他の団体	39(▲17.0)	3,166(▲84.4)	西宮甲子園浜浄化センター建設工事その25 棧橋施設大規模改修工事第2工区(P-8~P-11)
合計	603(▲1.1)	36,286(▲27.8)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成26年9月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,148億円、前年同月比2.4%の増加で、総額ベースで19か月連続して増額となった。輸出は、建設用・鉱山用機械などが増加したものの、原動機などが減少した。一方、輸入は、がん具及び遊戯用具などが増加したものの、輸送用機器などが減少した。

輸出は4,483億円(前年同月比2.3%増)と6か月連続で増加した。

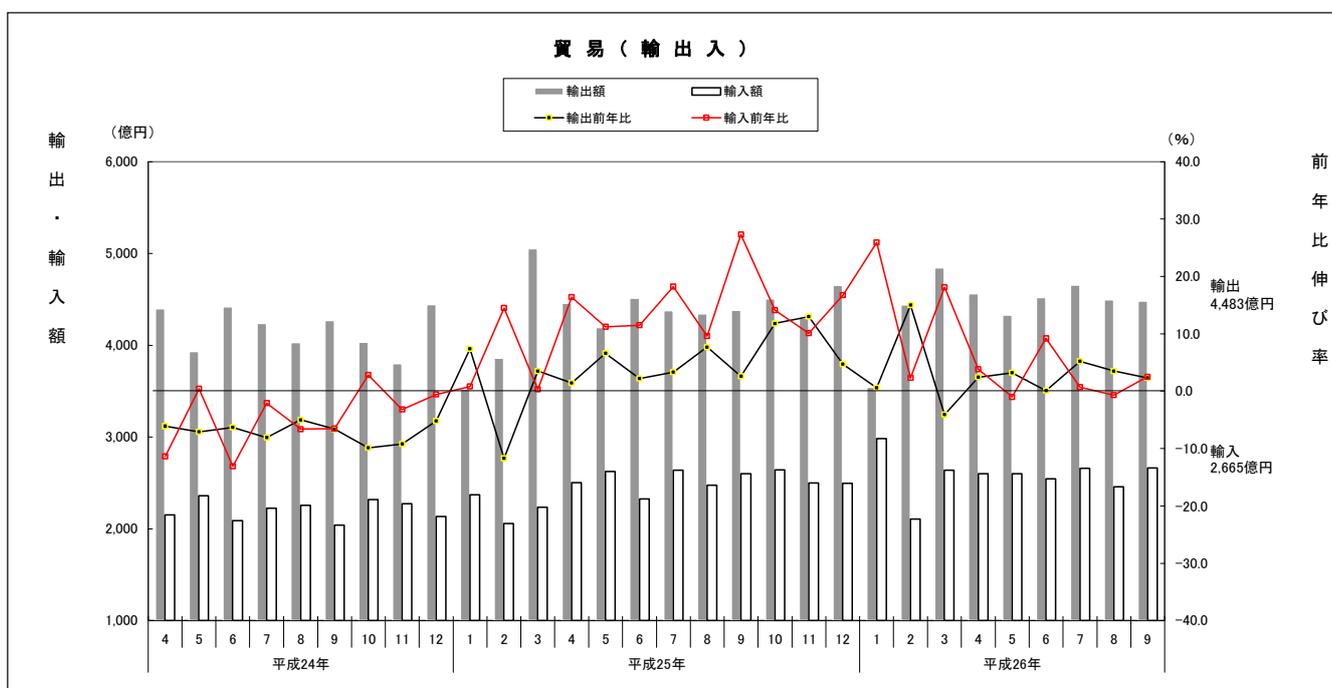
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比29.5%増、2か月連続プラス)、プラスチック(同8.1%増、3か月連続プラス)、織物用糸及び繊維製品(同3.2%増、2か月ぶりにプラス)が増加、原動機(同25.2%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比14.4%増、2か月連続プラス)、米国(同7.9%増、2か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同1.3%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、EU(同5.2%減、5か月ぶりにマイナス)が減少した。

輸入は2,665億円(前年同月比2.5%増)と2か月ぶりにプラス。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比16.3%増、5か月連続プラス)、衣類および同付属品(同12.0%増、6か月ぶりにプラス)が増加し、有機化合物(同8.2%減、2か月ぶりにマイナス)たばこ(同5.6%減、17か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比10.1%増、2か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同7.0%増、2か月ぶりにプラス)、米国(同1.1%増、2か月連続プラス)が増加、EU(同15.2%減、2か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

9月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が103.4(平成22年=100)となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は、2.9%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は102.9となり、前月比は0.3%減少、前年同月比は2.4%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は101.4となり、前月比は0.2%減少、前年同月比は2.1%上昇となった。

前月からの動きを見ると、教養娯楽サービスなどの下落により「教養娯楽」が1.8%、交通などの下落により「交通・通信」が1.2%、家事用消耗品などの下落により、「家具・家事用品」が1.4%、電気代などの下落により「光熱・水道」が0.2%、医薬品・健康保持用摂取品などの下落により「保健医療」が0.1%下落した。

9月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	103.4	103.1	101.7	121.0	99.5	104.3	98.7	103.3	101.9	98.9	107.9	102.9	101.4
前月比	0.2	1.7	0.0	-0.2	-1.4	4.8	-0.1	-1.2	0.0	-1.8	0.2	-0.3	-0.2
前年同月比	2.9	4.5	0.3	4.5	3.8	1.8	1.3	2.7	0.9	5.1	4.5	2.4	2.1

(注)平成22年=100

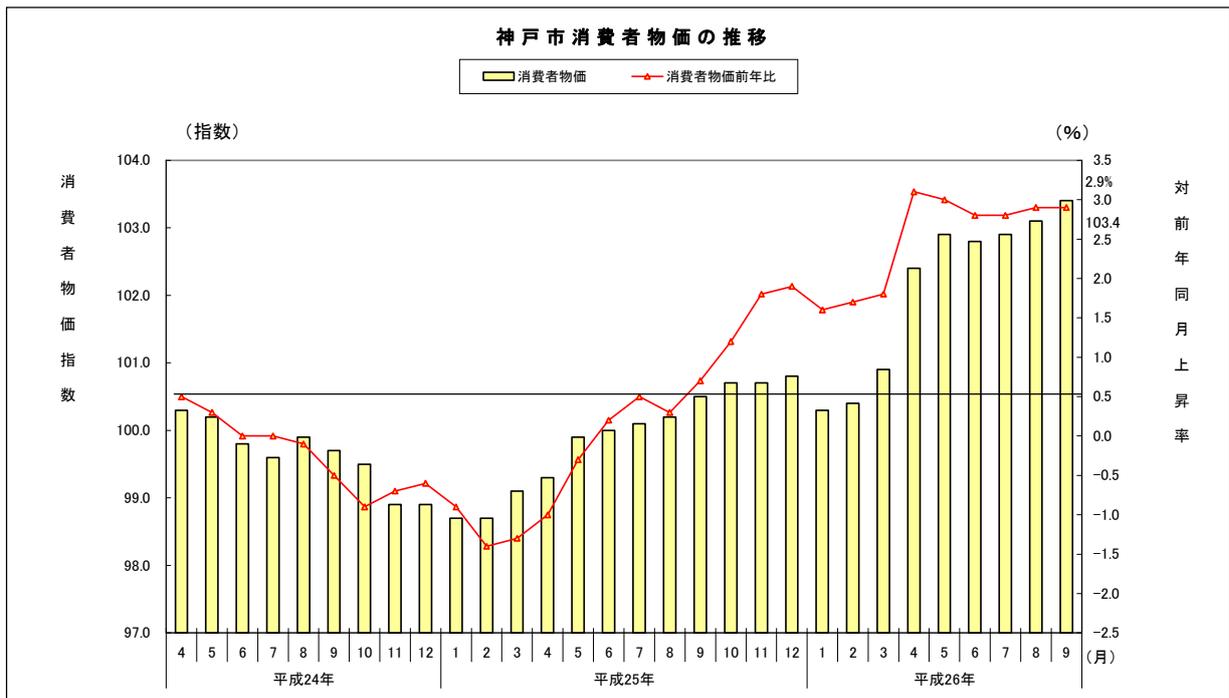
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

野菜・海藻 (+ 14.1%)・・・トマト、レタス、ピーマン
衣料 (+ 7.3%)・・・婦人スラックス、背広服

○対前月比値下がりした主な品目

教養娯楽サービス (▲ 3.3%)・・・宿泊料、外国パック旅行
交通 (▲ 3.6%)・・・航空運賃、料金 (JR・新幹線)



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が10月14日に発表した、企業物価指数(速報)による2014年9月の企業物価指数は次のとおり。

9月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	106.3	-0.1	3.5
輸 出 物 価	111.1	1.9	3.6
輸 入 物 価	129.5	2.1	4.4

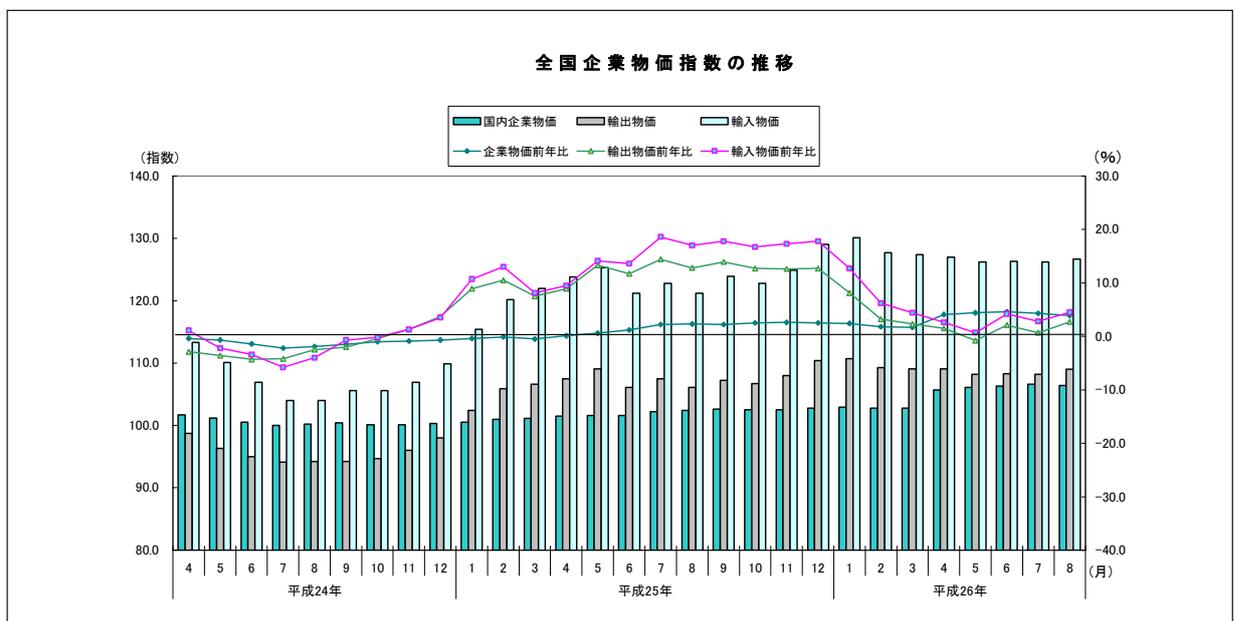
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、農林水産物(前月比0.8%<鶏卵など>)、非鉄金属(同0.7%<アルミニウム合金・同二次合金地金など>)等が上昇したが、石油・石炭製品(同-1.3%<ガソリンなど>)、電力・都市ガス・水道(同-0.4%<産業用特別高圧電力など>)、化学製品(同-0.2%<キシレンなど>)などが下落した。全体では前月比-0.1%となった。

9月は106.3と前年同月比で3.5%上昇した。消費税を除く国内企業物価指数は103.4で前月比0.1%減少、前年同月比0.7%上昇した。

輸出物価は、金属・同製品(前月比+2.7%<貴金属延伸材など>)、輸送用機器(同+2.2%<普通乗用車など>)、化学製品(同+1.1%<パラキシレンなど>)、その他産品・製品(同+1.1%<軽油など>)、電気・電子機器(同+1.9%<モス型集積回路など>)、はん用・生産用・業務用機器(同+1.2%<精密測定器など>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.9%の増加(前年同月比+3.6%)となった。

輸入物価は、金属・同製品(前月比+3.1%<銅鉱など>)、食料品・飼料(同+2.9%<牛肉など>)、その他産品・製品(同+2.7%<天然ゴムなど>)、繊維品(同+2.7%<女子用スーツ類など>)、電気・電子機器(同+2.4%<モス型メモリ集積回路など>)、石油・石炭・天然ガス(同+1.5%<原油など>)等が上昇し、円ベースでは前月比2.1%の増加(同+4.4%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内8月の新規求人数(全数)は、26,740人(前年同月比2.2%増)で、14か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は76,368人(同7.8%増)で52か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比4.2%増で14か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同2.4%増で9か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同19.5%減で2か月連続して前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、製造業(前年同月比4.2%増)、運輸業、郵便業(同1.6%増)、卸売業、小売業(同0.3%増)、宿泊業、飲食サービス業(同3.7%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同9.3%増)、医療、福祉(同9.5%増)は前年を上回り、建設業(同6.4%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同14.9%減)、サービス業(同4.1%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

8月の新規求職申込件数(全数)は18,226件(前年同月比8.3%減)で2か月連続して前年を下回った。

また、月間有効求職者数(全数)は88,695人(同5.9%減)で51か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比10.0%減で2か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.3%減で2か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比7.0%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比0.0%増で前年と同水準で、自己都合離職者は同10.7%減で2か月連続して減少した。事業主都合離職者は同18.9%減で19か月連続、自営・他は同14.2%減で39か月連続、無業者は同14.5%減で32か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、24,183人(前年同月比8.4%減)で、19か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

8月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.38倍(前月比0.04ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率については0.89倍(前月比0.01ポイント増)で前月と同水準であった。

(4) 失業者の状況

8月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.5%、完全失業者数(原数値)は231万人(前年同月比40万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.0%(前年同月比0.4%減)で、完全失業者数(原数値)は41万人(前年同月比5万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
26年8月	26,740	1,866	3,324	208	1,292	4,222	129	432	618	2,089	1,061	7,598	3,061
前年同月比	2.2	▲6.4	4.2	▲16.5	1.6	0.3	▲27.9	1.4	▲14.9	3.7	9.3	9.5	▲4.1

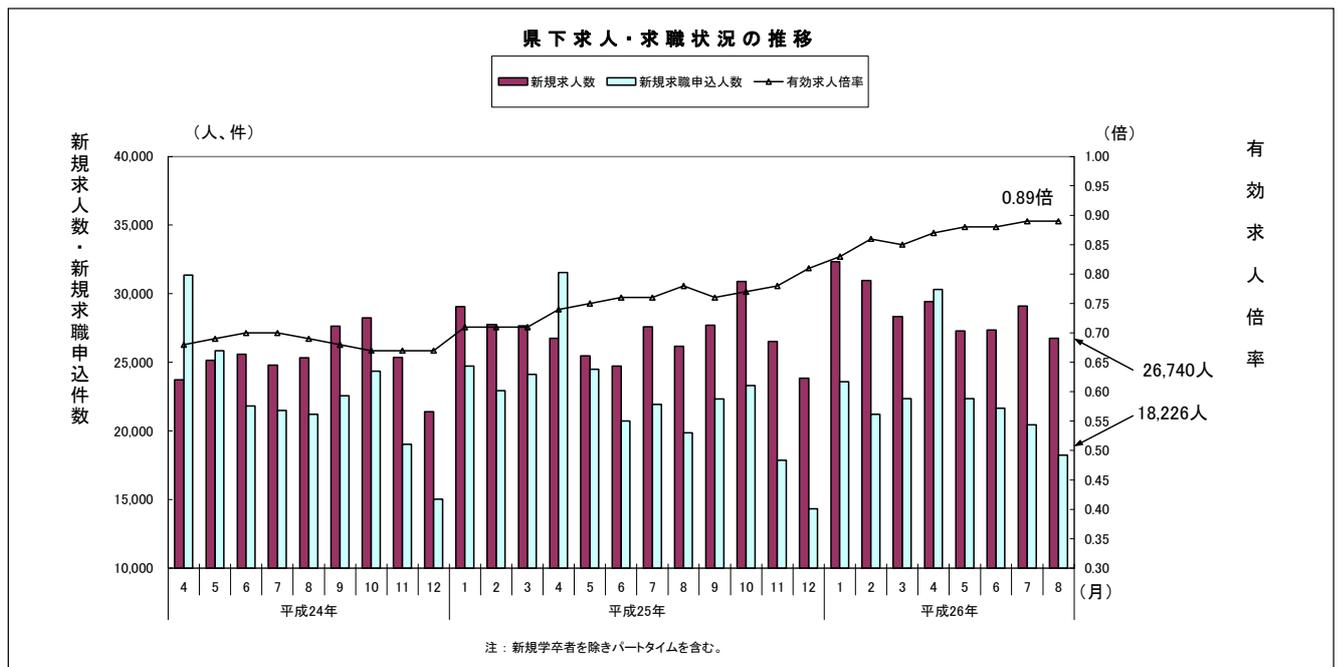
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	13/7-9	13/10-12	14/1-3	14/4-6	14/6	14/7	14/8
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.77	0.80	0.85	0.88	0.88	0.89	0.89
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	4.8	8.3	8.5	9.3	10.7	5.5	2.2
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	1.8	5.8	12.5	9.5	6.3	2.1	▲2.0
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	▲0.4	0.1	0.4	▲0.1	▲0.2	▲0.5	▲0.4
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	▲1.6	▲0.8	▲0.2	1.2	2.6	▲0.3	0.0

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

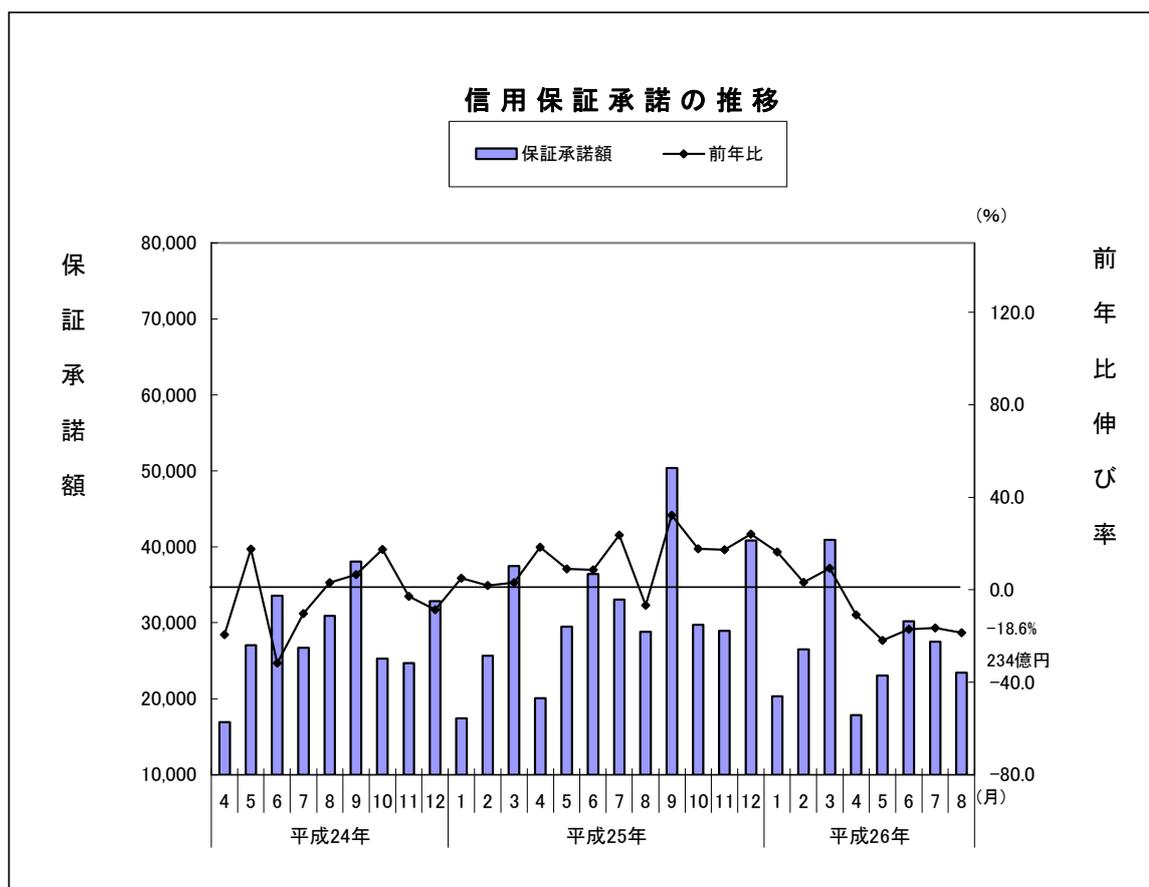
兵庫県信用保証協会による8月の保証承諾実績は、件数で1,583件(前年同月比18.6%減)、金額は234億47百万円(同18.6%減)となり、件数、金額ともに前年実績を下回った。

資金使途別では、運転資金21,512百万円(前年同月比20.7%減)、設備資金1,027百万円(66.3%増)となり、運転資金は前年同月を下回り、設備資金は前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「飲食店」738百万円(前年同月比38.7%増)等で前年同月を上回り、「建設業」5,941百万円(同16.0%減)、「サービス業」2,979百万円(同16.1%減)、「卸売業」4,435百万円(同17.9%減)、「製造業」4,515百万円(同22.0%減)、「小売業」2,647百万円(同26.3%減)、「不動産業」680百万円(同29.0%減)、「運送・倉庫業」931百万円(同45.1%減)等で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、144件(前年同月比27.3%減)、22億25百万円(同17.3%増)となった。

8月末の保証債務残高は、99,302件(前年同月比4.5%減)、1兆1,122億70百万円(同5.7%減)となった。



【金融】

8月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

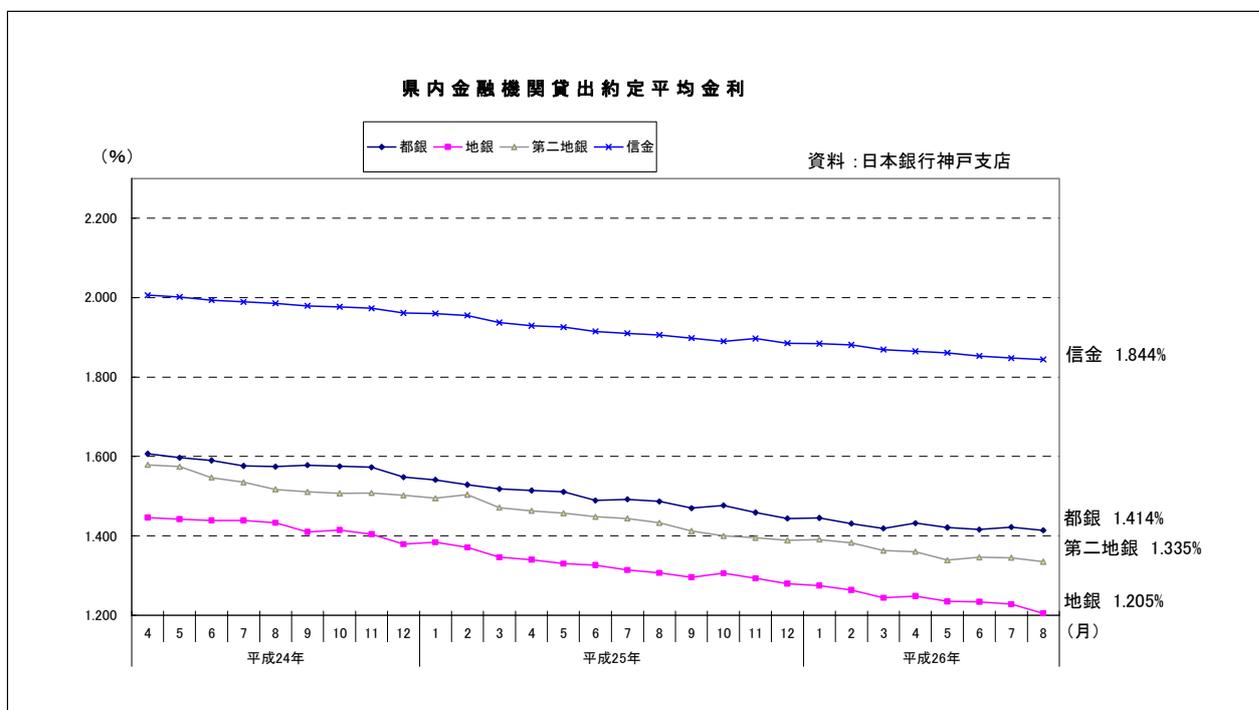
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	147,823	1.3	53,936	▲ 1.3
地方銀行	25,866	2.2	22,702	6.5
第二地方銀行	33,093	2.8	21,198	4.2
信用金庫	81,869	1.8	37,778	0.7
その他	17,359	▲ 1.6	17,347	0.2
計	307,010	1.5	152,961	1.2

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

8月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+1.5%)

8月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比+1.2%)

8月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(8月末水準 1.518%、前月比▲0.009%ポイント)。



【倒 産】

県内9月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は49件で前年同月比9.25%の減少、負債総額は54億47百万円で同56.79%の増加となった。

倒産件数は、前月比16件(48.48%)の増加。前年同月比では5件(-9.25%)の減少となった。なお、9月単月では過去10年間(平成17年以降)では、平成24年9月の43件、平成18年9月の48件に続いて3番目に少ない件数であった。

倒産件数は2か月連続の減少基調から一転して増加、負債増額も増加となったが、全般的に、依然として「小規模倒産」の多発が特徴的であった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が43件(全体の87.8%)を占めた。

業種別(件数)では、「他のサービス業」が10件(前年前月比3件減少)でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満までの倒産が36件発生し、全体の73.5%を占めた。

「産業別」では、「サービス業」が20件でトップとなった。

負債額1千万円以上1億円未満が39件発生(構成比:79.5%)するなど全般的に当月も「小規模倒産」の発生が特徴的であった。「不況型倒産」が43件(構成比:87.8%)発生した事を踏まえると、財務基盤の劣化、経営体力を落としている中小・零細企業への注視が必要と考えられる。

9月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	0	1	-1	9	-9	建設業	9	11	-2	18	-9
過小資本	4	1	3	4	0	製造業	6	4	2	6	0
連鎖倒産	2	1	1	1	1	卸売業	8	2	6	7	1
赤字累積	4	6	-2	5	-1	小売業	3	6	-3	5	-2
販売不振	39	24	15	32	7	情報通信業	2	0	2	0	2
売掛金回収難	0	0	0	1	-1	サービス業	20	8	12	13	7
その他	0	0	0	2	-2	不動産・運輸業他	1	2	-1	5	-4
合計	49	33	16	54	-5	合計	49	33	16	54	-5

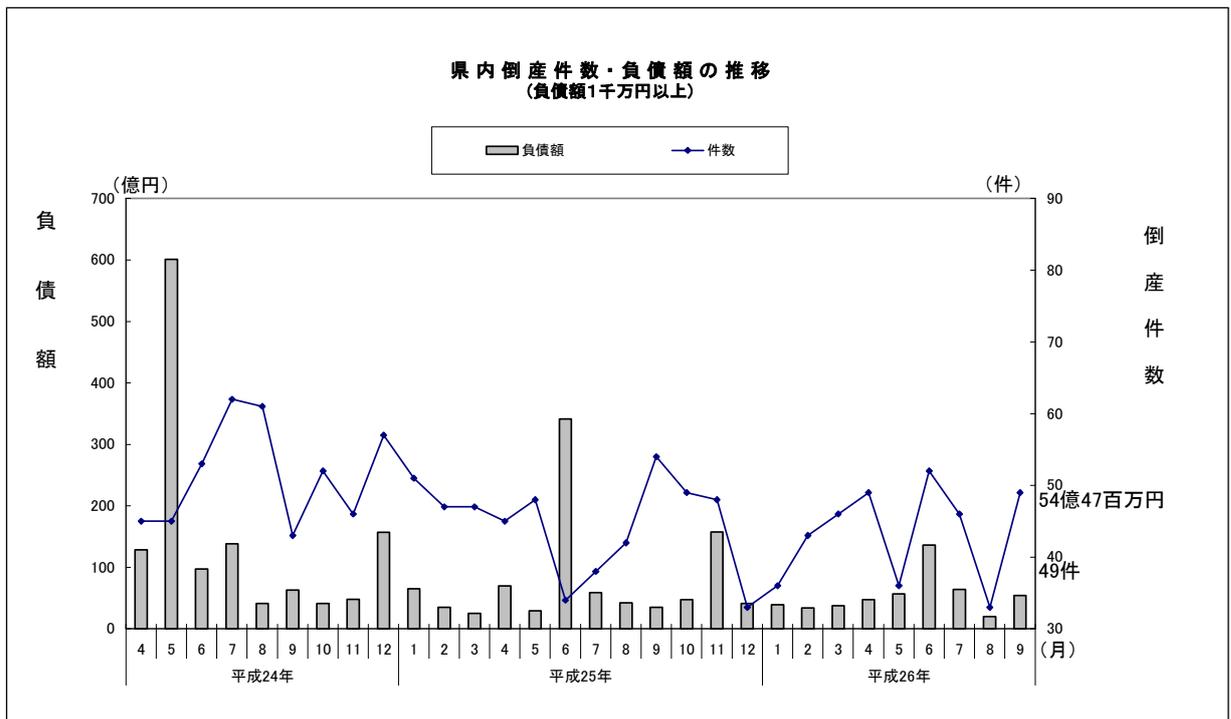
資料:東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額 1,000 万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1
25年 8月	42	14	14	7	6	1	0	0
25年 9月	54	19	10	11	9	3	1	1
25年 10月	49	17	11	11	4	3	2	1
25年 11月	48	20	15	3	8	0	0	2
25年 12月	33	14	6	5	7	1	0	0
26年 1月	36	11	6	10	6	2	1	0
26年 2月	43	17	8	6	11	1	0	0
26年 3月	46	23	11	9	0	1	1	1
26年 4月	49	18	15	10	4	2	0	0
26年 5月	36	13	14	4	2	2	1	0
26年 6月	52	20	17	6	6	2	0	1
26年 7月	46	19	14	4	1	2	1	5
26年 8月	33	8	11	5	7	0	0	2
26年 9月	49	18	10	6	2	2	0	2

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (22年=100)		全国 (22年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
25年 1月	97.6	0.3	94.0	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	97.1	-1.3	94.8	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	96.5	3.2	95.1	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	92.5	-0.8	95.7	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	92.6	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	95.5	1.1	95.0	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月	100.3	3.3	97.6	3.4	339	56.1	29.4	3,100	5.5	12.0
8月	94.0	-5.5	97.1	-0.9	272	52.9	7.9	2,735	-11.8	8.8
9月	97.6	3.5	98.6	1.3	502	100.6	29.4	2,759	8.9	19.4
10月	100.6	2.0	99.2	1.0	364	35.3	3.5	3,719	34.8	7.1
11月	100.4	0.0	99.5	0.1	313	8.1	4.9	4,017	44.5	14.1
12月	104.4	1.3	100.0	0.9	241	25.6	7.5	4,238	32.7	18.0
26年 1月	106.3	3.0	103.9	3.8	157	-14.2	28.8	2,504	16.2	12.3
2月	103.7	-2.9	101.5	-2.3	193	60.5	3.7	2,789	7.0	1.0
3月	103.1	-0.6	102.2	0.7	263	20.2	18.1	2,545	-6.8	-2.9
4月	101.5	-1.5	99.3	-2.8	554	64.6	10.0	2,719	11.3	-3.3
5月	100.6	-0.9	100.0	0.7	331	0.5	14.4	2,491	-5.4	-15.0
6月	98.3	-5.6	96.6	-3.4	342	0.1	14.4	2,919	-0.7	-9.5
7月	100.2	1.8	97.0	0.4	374	10.6	11.4	2,067	-29.2	-14.1
8月	96.8	-3.7	95.2	-1.9	233	-14.5	7.9	4,167	52.4	-12.5
9月					362	-27.8	5.0			
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫県支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,371	0.8
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,862	-11.7	2,058	14.5
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	4,459	1.4	2,504	16.4
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	4,194	6.6	2,625	11.2
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	4,515	2.2	2,327	11.5
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8	-2.2	4,379	3.3	2,638	18.2
8月	11,926	1.4	-1.6	145	-3.6	3.0	4,342	7.7	2,474	9.6
9月	17,366	14.1	18.1	144	-1.4	3.0	4,382	2.6	2,600	27.3
10月	13,869	21.2	18.4	158	-5.8	-0.4	4,507	11.8	2,644	14.1
11月	14,661	22.0	16.7	183	-0.9	2.6	4,293	13.0	2,499	10.1
12月	13,905	22.6	26.5	251	-2.7	1.9	4,653	4.7	2,495	16.7
26年 1月	17,055	27.5	30.6	187	-2.7	3.2	3,543	0.6	2,984	25.9
2月	20,071	18.5	18.8	147	2.8	2.9	4,442	15.0	2,106	2.3
3月	25,740	19.9	16.7	223	26.8	25.3	4,845	-4.1	2,639	18.1
4月	10,732	-10.4	-5.1	135	-15.4	-10.1	4,564	2.4	2,601	3.9
5月	11,461	-6.3	-1.3	151	-3.7	-2.1	4,331	3.2	2,600	-0.9
6月	14,336	-6.6	0.1	159	-3.5	-2.4	4,520	0.1	2,543	9.2
7月	14,963	-1.5	-2.6	178	-4.7	-0.4	4,609	5.2	2,658	0.7
8月	10,857	-9.0	-9.5	144	-0.5	2.0	r 4,498	3.6	r 2,459	-0.6
9月	17,618	1.5	-3.2	142	-1.6		p 4,483	2.3	p 2,665	2.5
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
25年 1月	0.70	0.84	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	99.9	-0.3	99.8	-0.3
6月	0.76	0.92	1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.2	99.8	0.2
7月	0.76	0.94	1,053	0.0	100.4	0.4	100.1	0.5	100.0	0.7
8月	0.78	0.95	1,050	0.0	100.0	0.4	100.2	0.3	100.3	0.9
9月	0.76	0.95	1,046	-0.5	100.2	0.9	100.5	0.7	100.6	1.1
10月	0.77	0.98	1,048	0.1	100.8	1.5	100.7	1.2	100.7	1.1
11月	0.78	1.00	1,051	0.2	101.0	1.2	100.7	1.8	100.8	1.5
12月	0.82	1.03	1,050	0.3	101.7	1.3	100.8	1.9	100.9	1.6
26年 1月	0.83	1.04	1,043	0.4	100.4	1.0	100.3	1.6	100.7	1.4
2月	0.86	1.05	1,039	0.5	100.6	0.8	100.4	1.7	100.7	1.5
3月	0.85	1.07	1,039	0.4	101.1	0.6	100.9	1.8	101.0	1.6
4月	0.87	1.08	1,050	0.3	102.5	0.9	102.4	3.1	103.1	3.4
5月	0.88	1.09	1,050	-0.2	101.9	1.2	102.9	3.0	103.5	3.7
6月	0.88	1.10	1,049	-0.2	102.5	1.4	102.8	2.8	103.4	3.6
7月	0.89	1.35	1,049	-0.5	101.6	1.2	102.9	2.8	103.4	3.4
8月	0.89	1.39	1,701	-0.4	101.6	1.2	103.1	2.9	103.6	3.3
9月							103.4	2.9	103.9	3.2
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	102.2	2.2	150,656	0.1	1.296	38	58	17	7	14
8月	102.4	2.3	151,104	0.6	1.291	42	42	14	14	14
9月	102.6	2.2	152,378	0.4	1.291	54	34	19	10	35
10月	102.5	2.5	151,258	1.0	1.277	49	47	17	11	21
11月	102.5	2.6	152,669	1.7	1.271	48	157	20	15	13
12月	102.8	2.5	153,631	1.5	1.258	33	41	14	6	13
26年 1月	103.0	2.5	152,338	1.3	1.254	36	38	11	6	19
2月	102.8	1.8	152,315	1.5	1.250	43	33	17	8	18
3月	102.8	1.7	155,384	1.7	1.234	46	37	23	11	12
4月	105.7	4.1	152,315	1.1	1.233	49	47	18	15	16
5月	106.1	4.4	153,310	2.0	1.229	36	56	13	14	9
6月	106.3	4.6	152,718	0.8	1.222	52	136	20	17	15
7月	106.6	4.3	152,445	1.2	1.219	46	64	19	14	13
8月	106.4	3.9	152,961	1.2	1.214	33	19	8	11	14
9月	106.3	3.5				49	54	18	19	12
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値